

# 版画家レンブラント

Rembrandt the Etcher: His Challenges and His Impact

2026 7.7(火) - 9.23(水・祝)



国立西洋美術館  
The National Museum of Western Art

東京  
上野公園

開館時間 | 9:30-17:30 (金・土曜日は20:00まで) \*入館は閉館の30分前まで 休館日 | 月曜日、7月21日(火) (ただし、7月20日(月・祝)、8月10日(月)、9月21日(月・祝)は開館) 主催 | 国立西洋美術館、レンブラント・ハウス美術館、朝日新聞社 助成 | 国立西洋美術館柴原慶一基金 協賛 | キッコーマン 後援 | オランダ王国大使館 協力 | 西洋美術振興財団



挑戦、  
継承、  
インパクト



レンブラント・ハルメンスゾーン・ファン・レイン 《書齋の学者(ファウスト)》 1652年頃 国立西洋美術館

# ゴヤ、ホイッスラー、ルドン、マティス、ピカソ…名だたる 芸術家たちを魅了した、レンブラント版画の真髄に迫る。

17世紀オランダを代表する画家レンブラント・ハルメンスゾーン・ファン・レイン(1606-1669)は、版画家としても傑出した存在として知られます。なかでもエッチング(腐蝕銅版画)の分野で、主題へのアプローチや素材などさまざまな実験的な試みを繰り返し、その表現の可能性を切り拓きました。自由闊達な線描、ピロードのような深みある諧調を備えた彼の版画作品は、のちに詩人・美術批評家のテオフィル・ゴティエが「油彩以上」と激賞しています。19世紀のエッチング・リヴァイヴァル

(エッチング技法を再評価する流れ)でもカリスマのごとく熱い支持を受けたレンブラントは、オランダのみならず広くヨーロッパに、また数世紀にわたって芸術家たちに影響を与え続けたのです。

本展は、レンブラント・ハウス美術館(アムステルダム)と国立西洋美術館の共同企画で、両館の所蔵作品を中心に個人蔵も加えた約130点を展示します。レンブラント版画の真髄と、彼の挑戦が後代の芸術家たちに継承され、インパクトを与えていく様子をぜひご覧ください。



1



3



4



5



6



7



8



9

1.《百グルデン版画》1648年頃 | 2.フレデリック・レガメ『エッチングのバリ』誌ポスター 1875年 | 3.《イタリア風景の中で読書する聖ヒエロニムス》1653年頃 | 4.《自画像、口を開けた顔》1630年 | 5.《使徒たちに現れるキリスト》1656年 | 6.《窓辺でエッチングを制作する自画像》1648年 | 7.アンリ・マティス《版画を彫るアンリ・マティス》1900-03年 | 8.フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・イルシエンテス《戦争の惨禍》79番:《真理は死んだ》1810-20年頃 | 9.《三本の木》1643年 \*1,3-6,9はレンブラント・ハルメンスゾーン・ファン・レイン作 \*1,7-9は国立西洋美術館蔵、2-6はレンブラント・ハウス美術館蔵

**観覧料(税込)** 一般 2,200円、大学生 1,300円、高校生 1,000円

\*中学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料(それぞれ学生証等年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください)。\*国立美術館キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教職員は、学生証・職員証のご提示により本展を学生1,100円、教職員2,000円でご覧いただけます。\*観覧当日に限り、本展の観覧券で常設展もご覧いただけます。\*チケット情報の詳細は公式サイトをご確認ください。お問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル) <https://www.nmwa.go.jp/>  
国立西洋美術館SNS X | @NMWATokyo Facebook | @NationalMuseumofWesternArt Instagram | @NMWATokyo



国立西洋美術館公式サイト



**国立西洋美術館**  
The National Museum of Western Art

東京  
上野公園

**交通案内** 〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 ○JR上野駅(公園口)下車徒歩1分  
○京成電鉄京成上野駅下車徒歩7分 ○東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車徒歩8分  
\*当館に駐車場はございません。